

宮城県保健環境センター一年報

昭和57年度

ANNUAL REPORT
OF
MIYAGI PREFECTURAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT

No. 1, 1983

宮城県保健環境センター

は　じ　め　に

昭和57年度は、国の行財政改革もあり、本県に於ても前年度の本庁、本年度は地方機関と機構改革旋風の捲き挙げられた年度でありました。当センターも、この渦中に嵌入されるにいたり、旧来の衛生研究所、公害技術センター、総合衛生センターの3機関が統合整理され、昭和57年8月1日付けで「宮城県保健環境センター」の機関名をもって新発足いたしました次第であります。

この機構改革の時期は、各機関とも同様の状態で各種調査研究事業のピーク時に際会しており、3機関固有の事業運営に少なからず支障を招くものと危惧され、亦職員間にも地震・災害にも似た心理的動揺が浸韻していたものと憂慮されておりました。

斯様な環境下でありましたが、保健と環境との両分野を包括有機的に結合し、その機能を総合的に発揮出来る体制作りをモットーとし、職員とともに努力した結果、行政需用に即対応可能な調査研究体制を整備することができ、また、57年度事業計画に基づいた調査研究をも消化出来た次第であります。

ここに、機構改革後に於ける初年度版として、当センターの調査研究成果を集録いたし、年報第1号として発刊いたすこととなりました。御高覧のうえ、御批判と変らざる御教示を賜わりますれば幸いです。

昭和58年12月

宮城県保健環境センター

所長 渡 辺 太惣治

目 次

A 事業概要		
I 総 説	1
1. 沿 革	1
2. 機構および業務分担	1
3. 職 員	2
4. 予算および決算	3
5. 主要機械器具	4
II 情報管理部の概況	8
III 微生物部の概況	11
IV 理化学部の概況	16
V 環境衛生部の概況	20
VI 大気部の概況	23
VII 水質部の概況	25
VIII 特殊公害部の概況	28
 B 調査研究		
I 論 文		
1. 道路交通騒音の予測	33
—モンテカルロ法による—		
(情報管理部) 加賀谷秀樹, 小室 健一, 佐藤 春雄 菊地 英男		
2. 宮城県におけるレプトスピラ症の感受性および感染源調査	38
(微生物部) 遠藤 好喜, 佐久間 隆		
3. トキソプラズマ抗体調査について	41
(微生物部) 遠藤 好喜, 佐久間 隆, 新妻 澤夫 三島 忠男		
4. 昭和57年度 日本脳炎疫学調査	45
—宮城県におけるコガタアカイエカの発生活消長と屠場豚におけるHI抗体の動向—		
(微生物部) 山本 仁, 遠藤 好喜		
5. 宮城県における風疹感受性調査(昭和57年度)	48
(微生物部) 秋山 和夫, 山本 仁		
6. RPHA法を用いたヒトロタウイルスの中和抗体測定法	50
(微生物部) 梅津 幸司, 白地 良一, 千葉 良 海老名卓三郎, 佐藤 昭夫, 石田名香雄		
7. 水田用除草剤の魚介類中の残留	53
(理化学部) 鈴木 滋, 佐藤 信俊, 加茂えり子 高槻 圭悟, 菊地 秀明, 牛沢 勇		
8. 有機リン系殺菌剤(IBP)の魚介類中残留	55
(理化学部) 鈴木 滋, 佐藤 信俊, 百川 滉 牛沢 勇		

9. 高速液体クロマトグラフィーによる天然着色料の定量	56
(理化学部) 高槻 圭悟, 山田 わか, 鈴木 滋 小野 研一, 牛沢 勇	
10. 飲料水中のトリハロメタンに関する研究 (第2報)	61
— 県内水道水中のトリハロメタン実態調査の統計的解析 — (環境衛生部) 清野 茂, 秋野 正造, 木戸 一博 千葉 規, 郡山 力	
11. 飲料水中のトリハロメタンに関する研究 (第3報)	66
— 浄水処理工程におけるトリハロメタン生成について — (環境衛生部) 木戸 一博, 秋野 正造, 渡辺 丈夫 千葉 規, 郡山 力, 長田 利昭 平井 博, 今野 博夫	
12. パージトラップ法による水中のカビ臭物質の測定について	72
(環境衛生部) 木戸 一博, 千葉 規, 郡山 力	
13. ガスクロマトグラフィーによる水中フェノールおよびフェノール類の定量	76
(環境衛生部) 菅原 隆一, 木戸 一博, 千葉 規 郡山 力	
14. 宮城県におけるガン死亡率と水道水等の環境要因との関係における統計的解析 (第1報)	81
— ガン死亡率の統計的観察 — (環境衛生部) 清野 茂, 庄司 晃子, 千葉 規 郡山 力, 一ノ渡義巳	
15. 宮城県におけるガン死亡率と水道水等の環境要因との関係における統計的解析 (第2報)	90
— ガン死亡率と水道水等の環境要因との関連性について — (環境衛生部) 清野 茂, 庄司 晃子, 千葉 規 郡山 力, 一ノ渡義巳	
16. スパイクタイヤによる道路粉じんに関する若干の考察	98
(大気部) 氏家 愛子, 安倍 睦夫, 北村 洋子 加藤 謙一, 森 泰明, 狩野 敏郎	
17. 柴田町船岡地区におけるNO ₂ 濃度分布実態調査結果について	102
(大気部) 北村 洋子, 安倍 睦夫, 氏家 愛子 加藤 謙一, 森 泰明, 狩野 敏郎	
18. 工場・事業場における有害物質等取扱い実態調査結果	109
(大気部) 安倍 睦夫, 加藤 謙一, 森 泰明 氏家 愛子, 北村 洋子, 狩野 敏郎	
19. 底質試料のICP発光分析法による多元素同時分析	113
(水質部) 高橋紀世子, 大内 習一, 小泉 俊一 木村 茂, 柳 茂, 佐藤 秀夫	
20. 排水処理施設の維持管理に関する調査研究	121
— 活性汚泥の性状と浄化能との関係について — (水質部) 斎藤 善則, 鎌田 正弘, 木村 茂 佐々木俊行, 田中 和郎, 柳 茂 佐藤 秀夫	
21. 伊豆沼湖沼群の水質汚濁について	127
(水質部) 田中 和郎, 佐々木俊行, 高橋 正弘 高橋紀世子, 佐藤 春雄, 鎌田 正弘 小泉 俊一, 柳 茂, 佐藤 秀夫	

22. 人造湖における水質汚濁について（第2報）	135
— 漆沢ダムにおける自然的要因による水質汚濁と湛水後3年間の水質変動 —	
（水質部） 佐々木俊行，田中 和郎，高橋紀世子 鎌田 正弘，佐藤 秀夫，宮崎栄一郎 高橋 正弘，大庭 和彦，佐藤 春雄	
23. 建屋臭気の意味するもの（第1報）	142
— 魚腸骨処理場の建屋臭気を中心として —	
（特殊公害部） 氏家 国夫，八木 純，佐藤 春雄	

II 資 料

1. 感染症サーベイランス事業	149
（微生物部）	
2. 日本脳炎感染源感受性調査	151
（微生物部） 遠藤 好喜，佐久間 隆	
3. 先天性代謝異常および先天性甲状腺機能低下症マス・スクリーニング結果	152
（微生物部） 沖村 容子，清野 陽子，新妻 澤夫	
4. 食品中の有機塩素系農薬検査結果（昭和57年度）	153
（理化学部） 小野 研一，百川 滉，菊地 秀明 牛沢 勇	
5. 食品中の有機リン系農薬検査結果	156
（理化学部） 菊地 秀明，鈴木 滋，牛沢 勇	
6. 食品中のPCB・PCT残留実態調査（昭和57年度）	157
（理化学部） 加茂えり子，牛沢 勇	
7. 下痢性およびマヒ性貝毒調査結果（昭和57年度）	157
（理化学部） 菊地 秀明，中根ミワ子，牛沢 勇 小林 孜，米倉 豊，名久井敏男 山内 一成，遠藤 傳	
8. 合成抗菌剤クロピドールの鶏肉中残留	160
（理化学部） 佐藤 信俊，百川 滉，牛沢 勇	
9. 昭和57年産分離調整玄米のカドミウム含有量	162
（理化学部） 山田 わか，佐藤 信俊，菊地 秀明 牛沢 勇，石川 潔，細矢 義隆 船木 宏	
10. 宮城県産かきの重金属検査結果（昭和57年度）	163
（理化学部） 鈴木 滋，菊地 秀明，牛沢 勇	
11. 魚介類の水銀検査結果（昭和57年度）	163
（理化学部） 加茂えり子，牛沢 勇	
12. 食品中に含有する臭素酸カリウムの検査結果（昭和57年度）	164
（理化学部） 山田 わか，加茂えり子，菊地 秀明 牛沢 勇，百川 滉	
13. めん類中のプロピレングリコールの検査結果（昭和57年度）	165
（理化学部） 佐藤 信俊，小野 研一，牛沢 勇	
14. 市販エビ中の亜硫酸およびホルムアルデヒド含有量	166
（理化学部） 菊地 秀明，加茂えり子，牛沢 勇	

